

番号	2-2-2	表題	示差熱分析及び成分分析から見た焼却炉施設の閉塞についての一考察		
内容	<p>東京都内の水再生センターでは、脱水汚泥及び焼却灰に含まれるりん濃度が上昇した結果、りんと金属類が一定の条件下で反応して生成する低融点物質が煙道等に付着し、閉塞するトラブルが頻発している。</p> <p>そこで、脱水汚泥を灰化し、示差熱分析を行い、閉塞の原因となっている低融点物質の挙動について調査を行った。機場毎に比較すると焼却炉閉塞の有無によって測定チャートに違いが見られた。また成分分析の結果と示差熱分析の結果を比較すると特定の物質について関係性が見られたので報告する。</p>				
キーワード	汚泥処理 脱水汚泥 焼却炉 閉塞 熱分析				
処理区名		位置区分	水再生センター、汚泥		
職種区分	環境検査	施策区分			
状態区分	調査、研究	新規性			
実施年度	令和元年度	全体期間	平成 30 年度～令和元年度		
担当部署	東京都下水道サービス(株) 技術部 技術開発課 設備技術開発担当 施設部 水質課 汚泥品質管理事務所				
発表履歴	局内				
	局外	第 57 回 下水道研究発表会			
調査方法	直営調査				
関連情報					